

## Girls in Control 2025 夏 開催報告

2025年7月31日

### 1. 開催概要

日時 2025年7月26日(土) 13:30~15:30  
場所 東京都市大学世田谷キャンパス 10号館 PBL 教室  
参加者 14名(小学生8名, 中学生6名)  
スタッフ 南裕樹(兵庫県立大), 関口和真(東京都市大), 松山科子(東京エレクトロン), 大矢純子(東芝), 石井秀明(東京大学), 早川朋久(東京科学大学), 田中ひろみ(JAAC), 学生TA4名(東京都市大学)

### 2. 報告内容

2023年7月に横浜で開催して以来、関東で Girls in Control イベントを開催できていなかった。そこで今回は、SICE Festival のプレイベントとして東京で開催することになった。東京開催にあたり、東京都市大学の関口和真先生に会場手配と広報を担当していただいた。また、SICE Festival において、Girls in Control の紹介をすることになり、動画撮影・制作をノットの須原様にご協力いただいた。

当日は、事前申込み16名のうち2名がキャンセルとなり、14名の参加者でイベントを実施した。今回は基礎コースの開催であり、講義(担当:南)に加えて、セグウェイや小型ドローンの飛行デモンストレーション(担当:南・関口)を行った。また、最後には理系女子の先輩であるTA4名に対し、研究テーマや工学部への進学理由などについて質問し(松山)、自由に語ってもらう時間を設けた。参加者へのアンケート結果によれば、イベントへの満足度は非常に高く、「楽しかった」という声のほかにも、「将来ここにいた女子大生みたいになりたい」、「制御ということがよくわかって楽しかった」といった感想が寄せられた。

イベント終了後は、スタッフとTAで意見交換会を開催した(大矢, 松山)。TA業務を通じて気づいた点や、大学生活や進路に関する話題について、意見交換が行われた。詳細は別紙参照。



### 3. 反省点など

#### (1) 広報について

大学を通じた広報活動の効果もあり、十分な数の申込みを得ることができた。

## (2) 内容について

基礎編の実施にあたり、以下の3点について工夫を行った。

- ・実施時間を1.5時間から2時間に延長した。これにより、演習の時間やTAへのインタビューの時間を十分確保することができた。
- ・解説資料の一部を資料として提供した。これにより、参加者個人のペースで作業ができるようになった。小学生から中学生までが参加する場合、中学生の進行が早くなる傾向があり、一方で小学生のみの場合でも、講師のペースに追いつけない参加者が一定数出てくる。そのため、この方法は有効であると考えられる。
- ・グループ分けに際しては、事前アンケートを基に、参加者の学年とScratchの習熟度を考慮した。TA1名につき4名の参加者をサポートする体制としたが、これは指導効率を高めるためである。今回は、中学生や経験者が一定数いたため問題なく進行できたが、今後、小学生や未経験者が多い場合は、1人のTAが担当する人数を減らすことが望ましい。

今後の検討課題は以下である。

- ・ビデオが長いと眠くなる生徒が眠くなるので、なるべくその場にいる講師が話した方がいい(TAからのコメント)

以上